

第85回例会

日本語教育における「教師の語り」研究の最前線

■ ブックトーカー ■

牛窪 隆太さん (東洋大学)

瀬尾 悠希子さん (東京大学)

香月 裕介さん (神戸学院大学)

■ 日時 ■

2022年 5月28日 (土) 13:00~15:00

オンライン (Zoom) 開催

※参加費無料 要事前申込

お申込は[こちら](#)から



※非会員の方もご参加になれます。



【ブックトーク紹介図書】

- ・牛窪隆太(2021)『教師の主体性と日本語教育』ココ出版
- ・瀬尾悠希子(2020)『多様化する子どもに向き合う教師たち—継承語教育・補習授業校におけるライフストーリー研究』春風社
- ・香月裕介(2022)『日本語教師の省察的実践—語りの現象学的分析とその記述を読む経験』春風社

言語文化教育研究学会のテーマには、ことば・文化・教育におけるヒト・コト・モノに注目することがあります。近年、日本語教育においては、教師の語りを対象とし、実施した研究をまとめた書籍が多く刊行されるようになってきました。これらの研究において教師が語ることは、どのように位置づけられているのでしょうか。また、研究成果から日本語教師研究の方向性として、どのような示唆が得られるのでしょうか。

本例会では、著者である若手研究者に「ブックトーク」の形式で自著を紹介していただき、意見交換を行うことで、日本語教育における教師の語りの最前線について参加者とともに考えたいと思います。本来、「ブックトーク」とは第三者によって行われるものではありませんが、自著を紹介するという形式で実施することで、参加者が研究の裏側にある問題意識や研究過程を理解し、活発な意見交換が行われることを期待しています。例会への参加にあたり、できれば少しでも著書に目を通していただければと思います。目次だけを見るもよし、著者のライフストーリー部分を読んでいただくもよし、興味をひかれた部分を読んできていただくもよし。「読む」という行為を媒介として、フロアの皆様とゆるやかに対話をすることができればと思います。ぜひ、飲み物を片手にご参加ください。